

令和 4 年 5 月 30 日現在

機関番号：32634

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K02037

研究課題名(和文) スペインとメキシコにおける聖ヤコブ信仰の継続と変容の統合的分析

研究課題名(英文) Study of continuity and change of the cult of Santiago in Spain and Mexico

研究代表者

井上 幸孝 (Inoue, Yukitaka)

専修大学・国際コミュニケーション学部・教授

研究者番号：20399075

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：時間的・空間的に離れた中世スペインと植民地時代メキシコについて、カトリックの聖人である聖ヤコブ(スペイン語でサンティアゴ)崇敬を軸として両者を結びつけ、その継続性と変容を明らかにした。一人の研究者ではカバーしきれない範囲を、中世スペインを専門とする田辺、中世・近世スペインを扱う大原、植民地時代メキシコを対象とする井上が分担・協働し、その歴史的つながりの一端を解明するとともに、時代と地域を越えた共同研究の手法を提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

直接的な学術交流が十分にはないスペイン研究とメキシコ研究をつなぐ研究活動を行うことができたとともに、西洋史学や歴史学全般において、異なる地域と時代を共同研究から明らかにしていく手法の一つのモデルを提示し、『聖ヤコブ崇敬とサンティアゴ巡礼』として刊行することができた。また、スペインやメキシコの学界における聖ヤコブに関する個別の事象やテーマに資する成果を国内外において個別論文や分担執筆の形で残すことができた。

研究成果の概要(英文)：We clarified the continuity and transformation between medieval Spain and colonial Mexico, which are separated both in time and space, by linking them through the reverence of St. James (Santiago in Spanish). Kae Tanabe, who specializes in medieval Spain, Shima Ohara, who deals with medieval and early modern Spain, and Yukitaka Inoue, who targets colonial Mexico, collaborated to clarify part of the historical connection that cannot be covered by one researcher. At the same time, we presented a method of joint research that transcends time and region.

研究分野：歴史学(メキシコ史)

キーワード：聖ヤコブ カトリック 聖人崇敬 歴史 スペイン メキシコ 巡礼

1. 研究開始当初の背景

メキシコをはじめとするラテンアメリカの多くの国々とスペインは、公用語が同じスペイン語ではあるものの、歴史研究における共同作業は必ずしも多くない。とりわけ、中世スペインと植民地期メキシコのように、対象とする時代が大きく異なる場合には、十分な学術交流や共同研究がなされてきたとは言いがたい。しかしながら、スペイン史(ないしはヨーロッパ史)研究とメキシコ史(ないしはラテンアメリカ史)研究の双方において、共通するテーマは散見される。その一つがキリスト教の聖人である大ヤコブ(サンティアゴ)の崇敬についての研究である。スペインについては、一定の研究の蓄積があるものの、中世や近世における聖ヤコブ崇敬の実態、歴史的なダイナミズムの中での変容について、十分に解明されていないテーマが多く残されている。メキシコやラテンアメリカに関しては、一部に個別の論文や研究書の形で公刊されている研究成果が存在するものの、全体としては、総論と個別事例の間に大きな溝があり、聖ヤコブ崇敬の歴史的展開の解明が満足になされているわけではない。このような研究状況を背景とし、本研究課題では、スペインとメキシコを歴史的に連続した形で捉え、聖ヤコブ崇敬に関する研究に着手することとした。

2. 研究の目的

本研究課題では、スペインの守護聖人であり、ラテンアメリカでも頻りに崇敬されている聖ヤコブを軸に、中世スペインから植民地時代のメキシコまでを連続的に追ひ、この聖人崇敬の連続性ならびに変容の実態を明らかにすることを目的とした。具体的には、2つの目標を定め、代表者と分担者が個々に調査や分析を進めると同時に、共同研究としての議論を進めた。本研究の最初の目的は、中世スペインにおける聖ヤコブ崇敬の展開、近世スペインにおける王室周辺や征服者たちにとっての聖ヤコブが持つ意味、征服期や植民地時代メキシコにおける聖ヤコブ崇敬の移植と定着の具体的経緯といった個別テーマを深め、既存の研究では十分に明らかにされていない具体的事象に関する研究を進展させることである。もう一つの目的は、それら個別テーマの研究成果を統合し、中世イベリア半島から征服後のメキシコという歴史的・地理的に離れた時空を連続したものとして捉えた成果を示すと同時に、スペイン史研究とメキシコ史研究の対話や協同作業のモデルケースを提示することである。

3. 研究の方法

代表者および分担者各自がそれぞれの分担箇所の研究を進めた。最初の3年はスペインやメキシコなどでの現地調査を行い、それぞれが個別テーマの分析を進めることに主眼を置いた。分担者の田辺は、聖ヤコブ崇敬の起源から中世中期における発展の経過をたどるため、文献収集とその内容の精査、それを踏まえた考察を深めることに努めた。また同時に、崇敬の表象としての彫像や絵画等をイコノグラフィーの観点から分析を進めるため、スペイン各地で中近世の図像の資料収集を行った。同じく分担者の大原は、中世中期及び後期の史資料を読み進めて、先行研究で触れられることのなかったサンティアゴ崇敬と王権の連関のパラダイムを明らかにした。また熊野古道センターとの連携により、サンティアゴ巡礼路と日本の巡礼路についての比較研究を行った。また図像研究と映画研究をつなげペルー映画の配給会社とともに、中世カスティーリャとラテンアメリカにおけるサンティアゴ図像の変遷について分析した。代表者の井上は、メキシコを対象にクロニカ等の文献を読み進めて分析を行うと同時に、メキシコでの聖ヤコブ崇敬の実態を把握すべく、フィールドワークを進めた。また、メキシコとの連関を調査するための資料収集を目的として、スペインでの調査も実施した。以上の分担テーマと並行して、メンバー間での意見交換、本科研が主催する研究会(サンティアゴ研究会)やその他の学会や講演等の場で外部の研究者との意見交換も進めた。

続く2年間は、研究成果をまとめ、共同研究として統合作業することを中心とした。これと並行する形で現地調査による補足的な資料収集や内外での研究成果の公表を予定していたが、新型コロナウイルスの流行により、キャンセルせざるを得ない部分があった。また、代表者と分担者の間の会合や議論もメールやオンラインでのやりとりに頼らざるを得なくなった。これらのツールを活用して、4年目には、代表者・分担者の間で意見交換をさらに推進して議論を重ねた。5年目にはその成果を統合して、最終的に1つのまとまった研究成果としての書籍の出版を進めた。

4. 研究成果

本研究では、個別のテーマで国際的な研究レベルの向上に寄与することができた。分担者の田辺は、スペイン、中でもガリシアの「辺境性」やキリスト教普及の地域差を考慮しつつ、ヨーロッパ各地に誕生した聖ヤコブに関する諸々の伝説・伝承がひとつにまとめあげられて聖ヤコブ崇敬が誕生し、スペインにおいて確立していく過程を古代から中世の史料を用いて明らかにした。しかし崇敬の隆盛には「レコンキスタ」という時代性を利用したサンティアゴ教会の宣伝行為が大いに働いていたこと、そしてそれが聖ヤコブのみならず、聖ヤコブ崇敬に影響された他の聖人崇敬に関しても新たな「伝説」を生んでいったことを示した。同じく分担者の大原は、これまでほとんど研究されることのなかった後期中世カスティーリャ王国におけるサンティアゴ崇敬の諸相について王権を中心に明らかにした。またこれまで関連させた先行研究が不在である後期中世から近世初期にかけてのスペインとヌエバ・エスパーニャのサンティアゴ崇敬の動態と背景についても明らかにした。また現代におけるサンティアゴ巡礼路と熊野古道の再生についてフィールドワークを行い、成果報告を3本の論文にまとめた。代表者の井上は、メキシコ征服時から17世紀に入るまでの主要なクロニカにおける聖ヤコブ顕現の記述を詳細に検討し、先住民記録についても同様の検討を行って、征服時の聖ヤコブ出現のストーリーが生成され、流布していく過程を明らかにした。さらには、植民地時代の先住民共同体において聖ヤコブ崇敬が広まっていった過程を分析する上で、集住化や改宗化の際の先住民語史料、演劇や舞踊、メソアメリカ宗教との関連での外来の信仰の受容の方法といった多角的な考察が必要であることを指摘した。これらの成果は、研究成果一覧にあるように、国内外での学会・講演会・シンポジウム等の口頭発表、学会誌等での個別論文のほか、スペインやメキシコで出されたスペイン語の研究書の分担執筆という形でも公にすることができた。

本研究課題の特色は、中世スペインから植民地時代メキシコまでの地理的・時間的につなげられた両者を関連づけ、聖ヤコブを軸に歴史的な展開を踏まえて追うことにある。その成果は、2021年3月に代表者と分担者の計3名による共著『聖ヤコブ崇敬とサンティアゴ巡礼——中世スペインから植民地期メキシコへの歴史的つながりを求めて』（春風社）として刊行した。このような形で研究成果を広く公開し、今後も含めた研究の展望を明らかにすることで、異なる研究領域とされる対象を一つの歴史的な関連性のもとにその展開やダイナミズムを追うという切り口を研究者さらには国民に広く問いかけることができた。また、この研究課題の進展により、今後、スペインとメキシコ、もしくはスペインとラテンアメリカを視野に入れたキリスト教の聖人信仰のあり方をさらに掘り下げていくことが可能になった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 井上幸孝	4. 巻 108
2. 論文標題 ヌエバ・エスパーニヤの征服・植民地化における聖ヤコブ像 「インディオ殺し」と「モーロ人殺し」をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 専修人文論集	6. 最初と最後の頁 105-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukitaka Inoue Okubo	4. 巻 86 (2)
2. 論文標題 Apostoles en la Historia de la nacion chichimeca de Fernando de Alva Ixtlilxochitl	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studi e Materiali di Storia delle Religioni	6. 最初と最後の頁 558-571
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 大原志麻	4. 巻 6
2. 論文標題 熊野古道とサンティアゴ巡礼路 「二つの道の巡礼者」の比較	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 12-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸孝	4. 巻 105
2. 論文標題 アステカ征服における聖ヤコブ クロニカの記述を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 専修人文論集	6. 最初と最後の頁 135-159
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 井上幸孝	4. 巻 5
2. 論文標題 メキシコにおけるカトリシズム、聖ヤコブ、聖地巡礼	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 55-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田辺加恵	4. 巻 33
2. 論文標題 13世紀の史料にみる聖ヤコブ崇敬の変容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 スペイン史研究	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大原志麻	4. 巻 5
2. 論文標題 サンティアゴ巡礼路「フランス人の道」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 四国遍路と世界の巡礼	6. 最初と最後の頁 41-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大原志麻・田辺加恵・井上幸孝	4. 巻 14
2. 論文標題 サンティアゴ画像の変遷 間テキスト性と画像	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 翻訳の文化 / 文化の翻訳	6. 最初と最後の頁 27-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田辺加恵	4. 巻 38
2. 論文標題 『世界年代記』における《マタモロス》聖ヤコブと《ヒスパニア》	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東海大学国際教育センター紀要	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計41件 (うち招待講演 21件 / うち国際学会 6件)

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo (井上幸孝)
2. 発表標題 Conquista y cristianizacion en la Historia de Tlaxcala de Diego Mun-oz Camargo
3. 学会等名 Congreso Cinco siglos de la Iglesia Catolica en Mexico. Reflexiones en torno a la Conquista, Evangelizacion e Independencia de Mexico. 1521-2021 (Conferencia del Episcopado Mexicano, en linea) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo (井上幸孝)
2. 発表標題 La conquista de Mexico en la Historia de la nacion chichimeca de Fernando de Alva Ixtlilxochitl
3. 学会等名 Congreso Internacional 500 años del encuentro entre acolhuas y españoles (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo (井上幸孝)
2. 発表標題 La conquista de Mexico y el apostol Santiago en la historiografia novohispana
3. 学会等名 Videoconferencia del Centro de Investigaciones Historicas y Culturales (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 観光経営の課題～経営的視点からオーバーツーリズムを考える～
3. 学会等名 日本観光経営学会第1回年次大会（2020年1月11日、阪南大学 南キャンパス）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコにおけるカトリシズム、聖ヤコブ、聖地巡礼
3. 学会等名 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター研究集会（2019年10月27日、愛媛大学）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 中世後期におけるカスティーリャ王権とサンティアゴ巡礼の「衰退」
3. 学会等名 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター研究集会（2019年10月27日、愛媛大学）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo(井上幸孝)
2. 発表標題 Los santos en las cronicas indigenas y mestizas: el caso de Alva Ixtlilxochitl
3. 学会等名 56 Congreso Internacional de Americanistas（第56回アメリカニスト国際会議）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 11～12世紀のサンティアゴ巡礼路の発展に尽くした人々
3. 学会等名 日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 16～17世紀メキシコの歴史記録と聖ヤコブ信仰の移植
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 12世紀スペインにおける『マタモロス聖ヤコブ』像の生成
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 15～16世紀におけるイベリア半島から副王領へのサンティアゴの移動と変容
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo
2. 発表標題 La conquista de Mexico y el apostol Santiago en la historiografia novohispana
3. 学会等名 Videoconferencia del Centro de Investigaciones Historicas y Culturales (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo
2. 発表標題 Conquista y cristianizacion en la Historia de Tlaxcala de Diego Mun-oz Camargo
3. 学会等名 Congreso Cinco siglos de la Iglesia Catolica en Mexico. Reflexiones en torno a la Conquista, Evangelizacion e Independencia de Mexico. 1521-2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue Okubo
2. 発表標題 La conquista de Mexico en la Historia de la nacion chichimeca de Fernando de Alva Ixtlilxochitl
3. 学会等名 Congreso Internacional 500 an-os del encuentro entre acolhuas y espan-oles (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 「メキシコ征服」の歴史的意義
3. 学会等名 「1521 「メキシコ征服」再考」(専修大学人文科学研究所公開講演会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 先住民貴族とコルテス トラスカラとテスココの記録文書から
3. 学会等名 「メキシコの征服者コルテス像の再考 歴史学の観点から」(京都外国語大学、第20回ラテンアメリカ研究講座)(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコを征服したのはだれか? アステカ王国の終焉から500周年を迎えて
3. 学会等名 在日メキシコ大使館 Web特別講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 サンティアゴ土産考
3. 学会等名 静岡大学公開講座「巡礼路から見る世界～サンティアゴ、イングランド、四国遍路～」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 熊野古道とサンティアゴ巡礼路 「二つの道の巡礼者」の比較 -
3. 学会等名 静岡大学公開講座「巡礼路から見る世界～サンティアゴ・イングランド・四国遍路～」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコにおけるカトリシズム、聖ヤコブ、聖地巡礼
3. 学会等名 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター研究集会（2019年10月27日、愛媛大学）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコにおける聖ヤコブ信仰とカトリック巡礼
3. 学会等名 スペイン史学会第41回大会（2019年11月2日、慶應義塾大学日吉キャンパス）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 スペイン領アメリカにおけるサンティアゴ ヌエバ・エスパーニャ副王領の地名を中心に
3. 学会等名 日本イスパニヤ学会第65回特別大会（2019年12月8日、拓殖大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 「騎士聖ヤコブ」のイメージ形成に関する事例分析 14世紀の図像を対象として
3. 学会等名 2019年度スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会（2019年4月20日、東海大学高輪キャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 天草四郎の瓢箪 キリシタンと聖ヤコブの関係を探る
3. 学会等名 立命館大学アカデミック講演会（2019年5月25日、ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 観光経営の課題～経営的視点からオーバーツーリズムを考える～
3. 学会等名 日本観光経営学会第1回年次大会（2020年1月11日、阪南大学 南キャンパス）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 中世後期におけるカスティージャ王権とサンティアゴ巡礼の「衰退」
3. 学会等名 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター研究集会（2019年10月27日、愛媛大学）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue
2. 発表標題 Los santos catolicos en algunas cronicas novohispanas
3. 学会等名 XXX Congreso CANELA
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue O.
2. 発表標題 Los santos en las cronicas indigenas y mestizas
3. 学会等名 56 Congreso Internacional de Americanistas (Universidad de Salamanca) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 13世紀の年代記にみる聖ヤコブ崇敬の変容
3. 学会等名 スペイン史学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 後期中世から近世初頭にかけての聖ヤコブ崇敬－王権と貴族の関係を中心に－
3. 学会等名 スペイン史学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukitaka Inoue O.
2. 発表標題 El apostol Santiago en la conquista de Mexico: una revision de algunas cronicas religiosas
3. 学会等名 Seminario PermanenteCronicas Novohispanas y Andinas (DEH- INAH, Mexico) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 スペイン中世盛期におけるサンティアゴ崇敬と巡礼路の発展
3. 学会等名 サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ スペイン、フランス、メキシコのサンティアゴのカミーノ（静岡大学公開講座）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 後期中世におけるサンティアゴの衰退とラテンアメリカへの道
3. 学会等名 サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ スペイン、フランス、メキシコのサンティアゴのカミーノ（静岡大学公開講座）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコのサンティアゴ～先住民のキリスト教化と聖人崇拜
3. 学会等名 サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ スペイン、フランス、メキシコのサンティアゴのカミーノ（静岡大学公開講座）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 16～17世紀メキシコの歴史記録と聖ヤコブ信仰の移植
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 ヌエバ・エスパーニャにおけるカトリック布教と聖人
3. 学会等名 第2回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 12世紀スペインにおける『マタモロス聖ヤコブ』像の生成
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 『世界年代記』にみる「マタモロス」聖ヤコブ
3. 学会等名 第2回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺加恵
2. 発表標題 11～12世紀のサンティアゴ巡礼路の発展に尽くした人々
3. 学会等名 日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 15～16世紀におけるイベリア半島から副王領へのサンティアゴの移動と変容
3. 学会等名 第1回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大原志麻
2. 発表標題 16世紀ヌエバ・エスパーニャでのサンティアゴ信仰導入におけるカスティーリャ貴族同盟の役割
3. 学会等名 第2回サンティアゴ研究会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 田辺加恵、大原志麻、井上幸孝	4. 発行年 2022年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 352
3. 書名 聖ヤコブ崇敬とサンティアゴ巡礼	

1. 著者名 Mons. Alfonso G. Miranda Guardiola y Berenice Bravo (coords.), Yukitaka Inoue Okubo(井上幸孝) et al.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Conferencia del Episcopado Mexicano	5. 総ページ数 61-78 (分担執筆)
3. 書名 Cinco siglos de la Iglesia Catolica en Mexico. Reflexiones en torno a la conquista, evangelizacion e independencia de Mexico 1521-2021	

1. 著者名 Maria Isabel del Val Valdivieso, Juan Carlos Martin Cea, David Carvajal de la Vega (eds.), Shima Ohara(大原志麻), et al.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Ediciones Universidad de Valladolid	5. 総ページ数 663
3. 書名 Expresiones del poder en la Edad Media	

〔産業財産権〕

〔その他〕

聖ヤコブ科研 / サンティアゴ研究会 http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~thm0762/santiago.html

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田辺 加恵 (Tanabe Kae) (50580479)	立命館大学・経済学部・教授 (34315)	
研究分担者	大原 志麻 (Ohara Shima) (80515411)	静岡大学・人文社会科学部・教授 (13801)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	アルカンタラ ベレニセ (Alcantara Rojas Berenice)	メキシコ国立自治大学	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	カスティージャ フランシスコ (Castilla Urbano Francisco)	アルカラ大学	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関